熊本県歯科医師会
Kumamoto Dental Association

～健康長寿は歯から～

熊歯会報

No.788

February 2022
2

CONTENTS

- 巻頭言（常務理事　長野 靖弘）……3
- 理事会報告……4
- 委員会報告……6
  （厚生・医療管理、社会保険、地域保健Ⅱ）
- 総合政策プロジェクト報告……10
- 歯と口の健康講座……11
- 郡市会報告……16
  （玉名郡市、上益城郡、菊池郡市、天草郡市）
- リレー投稿㊷……19
- 熊歯乙女のひとりごと⑭……20
- 会務報告……21

― 歯科医師の倫理綱領 ―

われわれ歯科医師は、日頃より歯科医学および歯科医療の研鑽を通じて培った知識や技術をもって、人々の健康の回復と疾病の予防のために貢献するものである。

一、専門職として歯科医学と歯科医療の発展のために尽くし、医療倫理の実践に務める。

一、専門職であることを念頭に、法を遵守し適切な説明を行い、常に愛情を持って患者のために社会的使命を果たすように努める。

一、自己の知識、技術、経験を社会のために提供し、社会福祉および国民の健康向上のために努める。

公益社団法人　日本歯科医師会

表紙に寄せて

新年の恒例行事、城東校区のどんどやです。

立ち昇る炎の先に、熊本城が元の勇姿を浮かべています。

今のコロナ禍もいずれ終息するのを祈るばかりです。

（A. K）

身をもって健康寿命の延伸に貢献

常務理事　**長野 靖弘**

前期は認知症・リハビリ・オーラルフレイル等、後期高齢者関係・在宅介護関係を受け持つ地域保健の理事を担当し、それまでの経験を活かし取り組んで参りました。「歯科の介入によるオーラルフレイルの予防・健康寿命の延伸」つまり、フレイル・オーラルフレイルを見逃さず､口腔機能の低下から障害への移行の予防による健康寿命の延伸への貢献をする事､そして要支援・要介護への進行の予防により医療費・介護費の抑制をする事。これを念頭に執務を行ってきました。

今期は、後任に町田理事が、私はその担当常務理事を拝命致しました。コロナ禍で積み残しをしたままの役職拝命に心苦しさはありましたが、こちらも、理事・委員としっかり協力し合い、より適任になればとの思いで取り組んでいく所存です。

骨太方針2021では､「細菌性やウイルス性の疾患の予防という観点も含めて歯科における新型コロナウイルス感染症対策を検証するとともに、口腔の健康と全身の健康の関連性に関する国民の理解を含め、生涯を通じた歯科健診、オーラルフレイル対策、全身疾患の重症化予防にもつながる歯科医師、歯科衛生士による口腔健康管理の充実、歯科医療専門間、医科歯科、介護、障害福祉関係機関との連携を推進し、歯科保健医療提供体制の構築と強化に取り組む。今後の受診困難者の増加を視野に入れた歯科におけるICTの活用を推進する。」とあります。思い返しますと､私が訪問歯科診療を始めた25年前は､高齢者･障がい者歯科医療、在宅介護などは、どちらかというと主要な分野ではありませんでした。ところが、この骨太方針2021によると、まさに地域保健の守備範囲であり、極端かもしれませんが歯科のど真ん中を担っているような気がします。口腔の健康と全身の健康とは深い関係があり「健康長寿は歯から」と､蒲島県知事も仰って下さっています。まさに､これからの国の方向性に沿った取り組みに身を置かせて貰っていると言えます。

私は、昨年４月で還暦を迎えました。『論語』為政では、子曰､「吾十有五にして学に志す。三十にして立つ。四十にして惑はず。五十にして天命を知る。六十にして耳順う。七十にして心の欲する所に従へども、矩を踰えず」。60歳になると、人の言うことがなんでも素直に理解できるように、私もこれからそのようにしていかねばと思っていたところ、孔子が生きた頃の平均死亡年齢は30～40歳だったそうです。現在は人生100年時代。あと数十年したら、還暦はそれこそ人生の半分の節目になるかもしれません。そこで､「六十にして耳順い、六十にして立つ」という思いで、半分を折り返していこうと思います。ただ、高齢者ほど健康であるか否か、その個体差が激しいライフステージはありません。これからはより一層体調管理に留意し、身をもって健康寿命の延伸に貢献していこうと思います。皆様、どうぞよろしくお願いします。

理事会報告

来年また新たな気持ちで

― 第８回理事会 ―

12月22日（水）午後７時から県歯会館にて伊藤会長他五島理事を除く全役員、東学院長出席のもと開催された。

１．開会：椿副会長

２．挨拶：伊藤会長

本日は今年最後の理事会です。皆様には６月の執行部発足より大変お世話になりました。コロナの影響で思う様に出来ない事業もありましたが、精一杯取り組んでいただきました。本日、鶴田病院との回復期連携覚書を締結しましたが、この連携事業も非常に順調です。今後益々、我々が追い求める歯科医療を県民に提供することが重要になってきます。さて、我々が事業遂行する過程でプレッシャーを感じる場面が多々あると思います。しかしプレッシャーは、もっとチャレンジしよう、もっと出来るはずだという気持ちがあればこそ感じるものです。そして、それを応援する人々がいるからプレッシャーを感じ、これを力に変えることができます。会員の皆様の思いは様々です。それが我々のプレッシャーであり、それを感じてこそ我々は前に進んでいけます。時には上手くいかずに落ち込むこともあります。しかし、落ち込むことは、精一杯やってこそ初めて出てくる感情です。こうした感情を感じながら、我々は会員の皆様の思いを行政等に発信し続けていかねばなりません。理事の皆様には、来年また新たな気持ちで臨んでいただき、ご健康に益々発展されることを祈念しまして、挨拶といたします。

３．議長選出：伊藤会長

４．議事録署名人：増田・水上監事、伊藤会長

５．会務報告：

（自：11月22日～至：12月19日）

本会総務：理事会、常務理事会、歯周病プロジェクト講演会、DXプロジェクト合同会議

学　　術：安心安全歯科医療推進制度運営委員会

社会保険：社会保険委員会

地域保健Ⅰ：地域保健委員会Ⅰ

地域保健Ⅱ：介護者歯科実技研修会、介護保険ワーキング委員会

広　　報：『熊歯会報』１月号の校正

学校歯科：学校歯科委員会

医療対策：医療相談・苦情事例報告

センター・スペシャルニーズ：障がい者歯科スキルアップセミナー

厚生・医療管理：熊本国税局管内税務指導者協議会

医療連携：回復期医科歯科病診連携事業登録歯科医説明会、がん医科歯科連携運営協議会

学　　院：学院教務委員会

国保組合：国保理事会

以上、各担当役員より報告がなされた。

６．報告事項：

１．退会会員

村田 英俊 会員（第２種／熊本市／熊本予防･矯正歯科センター村田オフィス）12月31日　自己都合

２．10月末がん及び回復期の医科歯科連携事業

３．11月末会計現況

４．令和２年７月豪雨に伴う災害の被災者に係る一部負担金の取扱い

豪雨災害の被災者に係る一部負担金免除の取扱いが今月末で終了になることを報告した。

５．事業実施報告書【承認】

・11／28歯周病プロジェクト講演会

講演会の実施内容等を報告した。

7．連絡事項：
1．1月行事予定
8．承認事項：
1．後援名義使用・共催依頼【承認】
• 熊本県産前・産後母子支援事業報告会・講演会／社会医療法人愛育会 福田病院
• 第69回「熊本小児保健研究会」／熊本小児保健研究会
• 国際歯科医療安全機構総会・学術大会／国際歯科医療安全機構
後援名義使用並びに共催の許諾を承認した。
2．働き方改革への対応【承認】
次年度より契約社員の待遇を改善することを承認した。その他の働き方改革も継続して検討する。
9．議題：
1．関係機関・団体への会費等の納入【承認】
• 全国地域リハビリテーション支援事業連絡協議会／年会費 正会員 10,000円
• 一般社団法人熊本暮らし人まつり／協賛金 一口 20,000円
• 熊本県日中協会／賛助金
会費等の納入を承認した。
2．県からの委託事業・補助事業の予算【承認】
• 令和3年度ヘル歯－元気8020支援事業
• 令和3年度むし歯予防対策事業
• 令和3年度災害歯科医療研修強化事業
県委託事業・補助事業の予算案を承認した。
3．令和4年度各委員会予算（案）【承認】
地域保健Ⅰと対外PRは修正する。その他各委員会予算案を承認した。
4．事業企画書【承認】
• 代診派遣制度の登録制（復活）
企画書の内容で今後検討に入ることを承認した。
5．㈱ネットワークより本会対外PR事業の提案【否認】
各郡市会長専務理事連絡会議で意見を伺ったうえで再度検討する。
6．令和3年度第2回臨時代議員会手続きスケジュール・日程案【承認】
代議員会手続きスケジュール・日程案を承認した。
7．令和4年度県歯終身会員、代議員会会員表彰者リスト【承認】
終身会員、代議員会会員表彰者リストを承認した。
8．九州各県歯科医師会会長会並びに九地連協議会の開催【承認】
出席者及び、Web担当役職員の役割等について提出協議題を出すことを承認した。
9．令和3年度第34回中規模県歯科医師会連合会の開催【承認】
働き方改革に係る各県の取り組みについて提出協議題を出すことを承認した。
10．関係機関・団体からの役員等の推薦依頼【承認】
• 熊本県在宅医療連携体制検討協議会委員／熊本県
松本副会長の留任を承認した。
11．歯の祭典の開催【承認】
6／4（土）に市民会館において高齢者のよい歯のコンクール・歯の健康文化賞の表彰式を行う。また、9月頃に図画・ポスター・習字、歯・口の健康啓発標語の作品募集を締め切り、11月頃に表彰式を行う。
12．その他
• 熊本県がん対策推進協議会委員の就任
三森理事の就任を承認した。
10．協議事項：
1．各所管事業実施報告
各所管事業実施報告を1月から3月の理事会で順番に報告する。
11．監事講評：
増田監事より「今年も一年お疲れ様でした。コロナの影響で歯科医学大会がWeb開催され、より多くの県民にもご参加頂き、歯科に興味を持たれたと思う。また、政府が歯科医師による集団接種を認めた事で、歯科への認識がより高まった。」、水上監事より「一年間お疲れ様でした。電子帳簿保存法の内容が分かり辛いので、分かり易い文書で会員に周知してほしい。また、理事会で多く意見が出る事は大変良いが、貴重な時間なので、予め意見を集約し、議論の方向性を決めておいた方が良いと思う。」と述べられた。
12．閉会：松本副会長

（広報　神﨑 理子）

委員会報告

様々な課題を協議

― 九州各県医療管理担当者会議 ―

厚生・医療管理

10月16日（土）午後２時より県歯会館において、標記会議が開催された。今年度は沖縄県歯が主催となるが、新型コロナウイルスの影響により昨年同様Web開催となり、九州各県の担当者および三代日歯常務理事の出席があった。長嶺沖縄県歯理事の開会の辞の後、米須沖縄県歯会長、三代日歯常務理事から挨拶があり、渡慶次沖縄県歯専務理事が座長に選出された。

まず、三代日歯常務理事より日歯報告があり新型コロナウイルス感染症における日歯の対応の経緯、歯科医師によるワクチン接種による現況、令和４年度の厚労省関係重点要望項目「地域包括ケアシステムにおける歯科保健医療の充実」に盛り込まれる歯科衛生士の人材確保のための法律や歯科技工士の就労規定についての条件整備の検討などの要望がなされている旨の報告があった。また、追加で行われる感染対策補助金についての説明もなされた。

その後、協議に入った。内容は以下の通りである。

⑴　令和３年度九州各県医療管理関係事業計画および予算について

⑵　各県提出協議題

１．コロナ禍における講習会の開催状況・歯科医師会館の利用状況について
２．新型コロナウイルス感染症の為、休診になった歯科医院の件数について
３．歯科医師による新型コロナワクチン接種について
４．新型コロナワクチン接種におけるワクチンハラスメント事案について
５．新型コロナウイルス感染症関連の給付金について
６．歯科衛生士不足への対応について
７．歯科衛生士の復職支援について

左から工藤理事、宮井副会長、牧委員長が出席

８．歯科医療従事者の復職支援について
９．歯科衛生士の確保に向けてのPR活動等について
10．歯科衛生士復職支援に関する具体的な活動、費用、管理者について
11．救急薬品の管理について
12．大量の消毒用アルコール等危険物の保管等について会員への指導状況について
13．HIV患者歯科医療ネットワーク構築について
14．各県における診療所の医療法人化の対応について
15．オンライン資格導入への会員対応について
16．ホームページの広告規制ガイドライン抵触に対しての歯科医師会の対応について
17．金パラ高騰による患者さんからのクレームについて
18．SNS等による特定の患者からの誹謗中傷の対応について
19．有給休暇取得について
20．サービス残業の実態について

⑶　日歯への質問・要望

１．感染予防対策を考慮した災害対応について
２．マイナンバーカードによるオンライン資格確認について

3．マイナンバーカードによる歯科診療の今後の展開について
4．キャッシュレス化について
5．SNS上での誹謗中傷に関する具体的対応について
6．歯科衛生士の不足問題について

今年度もコロナ禍における各県の対応や慢性的な歯科衛生士不足に対しての各県の取り組みなど様々な意見が交換され、当県としても非常に参考になる会議となった。また日歯からも活動報告や現状の課題などの話があり九州各県からの要望も検討していただくこととなった。

会議は次期開催県の和田大分県歯理事の挨拶と邊土名沖縄県歯医療管理委員長の閉会の辞をもって定刻に終了した。

（牧 潤一）

お知らせ

令和３年度 第２回臨時代議員会 開催のお知らせ

下記の通り、令和３年度 第２回臨時代議員会を開催しますのでお知らせいたします。

記

日時：令和４年３月26日(土) 午後３時～
会場：熊本県歯科医師会館　４階ホール

［議　事］
第１号議案　令和３年度熊本県歯科医師会会計収支補正予算書（案）の承認を求める件
第２号議案　令和４年度熊本県歯科医師会事業計画（案）の承認を求める件
第３号議案　令和４年度熊本県歯科医師会会費及び負担金の賦課額、賦課率並びにその徴収方法（案）の承認を求める件
第４号議案　令和４年度熊本県歯科医師会会計収支予算書（案）の承認を求める件

［協　議］
１　時局対策について
２　その他

※代議員会は公開となっています。傍聴を希望される場合は、事務局に必ずご連絡のうえ、ご来場下さい。
※新型コロナウイルスの拡大状況によっては、一部制限をすることがありますので、ご了承ください。

委員会報告

近県での連携をより強化

― 近県社会保険担当者会議 ―

社会保険

11月６日（土）午後３時より県歯会館において、Web会議の形式で標記会議が開催された。

今年度の担当は山口県で、他は、長崎県、香川県、本県の参加で伊藤会長、椿副会長、舩津・野田理事、桐野委員長、清水・橋本・園田副委員長が出席した。

会議は上田山口県歯常務理事の開会の挨拶で始まり、小山山口県歯会長、伊藤熊本県歯会長、渋谷長崎県歯会長、豊嶋香川県歯会長の順に挨拶があった。出席者紹介、座長選出後、日歯の社保関係報告が行われ、その後各県より出された議題の協議が行われた。

＜報告事項＞

・地域包括ケアの体制作りの推進
・感染症の予防を踏まえた歯科診療
・口腔疾患の重症化予防、機能維持
・歯科固有技術の評価
・在宅医療の推進拡大

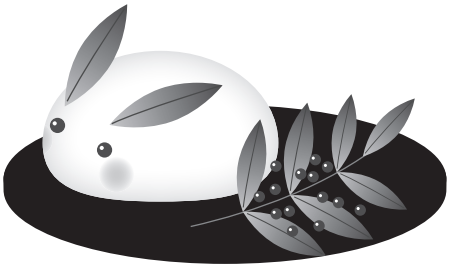
今後これらの項目に沿って改定や保険計画が進められる。

その後各県からの協議事項（29題）の質疑応答を行った。各県での審査の取り決め事項や現在の指導の状況等を確認し、九州や近県の連携により統一した算定基準ができるように今後も情報の交換を行うようにしていく。

会館からWebで参加した本県の出席者

最後に、次年度担当になる本県より椿熊本県歯副会長の閉会の辞で終了となった。

（園田 隆弘）



委員会報告

口から安全に食べ、心のケアへつなげる口腔機能向上を目指して

― 第１回介護者歯科実技研修会 ―

地域保健Ⅱ

12月12日（日）午前10時より県歯会館にて標記研修会がWebにて開催された。参加者は85人。講師は日本歯科大学名誉博士で、米山クリニック（静岡県）の米山武義院長にご講演頂いた。

始めに、伊藤会長の挨拶では、このような研修の機会に恵まれたことに感謝の意を表され、米山先生も「今回の受講をきっかけに熊本県でも口腔医療の重要性への認識が広がってくれると嬉しい。」と話された。

講演は、超高齢社会における口腔の持つ意味と現状を述べられ、その後経験された事例を交えながら、まだまだ器質的な口腔環境は劣悪であることが多く、この口腔環境に起因する歯周病等の感染症が全身に深刻な影響を与えていること、虚弱な方々にとっては口腔の感染症は生死を分ける一大事となるといっても過言ではないと話された。また、高齢者での口腔機能低下は、安全に食物を咀嚼し、飲み込めないことを意味し、それは深刻な栄養不足を引き起こし、ひいては精神の安定にも影響すると説明された。

1999年には日本老年医学会雑誌に「老人性肺炎の病態と治療」という論文が掲載され、新しい老人の肺炎予防戦略の中にはじめて口腔ケアの重要性が示され、2002年に米国老年医学会雑誌に掲載された論文からも、口腔ケアが経済効率の上からもQOL維持のためにも医学的効果と意義があると評価されてきた。しかしながら残念なことに、これらの重要性が医療、介護の専門職を通して、国民には十分に伝わっておらず、今後我々歯科医師が担う役割は大きいとのことであった。

米山先生と記念撮影

最後に、口腔は食べることだけではなく、生命や社会的生活を営むための根本的な役割を担っており、人生は口で決まるかもしれないとの言葉のもとに、高齢者が人間の尊厳をもって平穏な死を迎えられるよう支える役割が口腔医療にはあると講演された。

講演後の質疑応答では、いくつかは後日回答となり、松本副会長が謝辞を述べられ閉会となった。今回の講演は実際の手技の動画等も含まれており、ここに紹介しきれないほど充実した内容で大変有意義なものとなった。

（川野 智美）

総合政策プロジェクト報告

若者への歯と口の健康意識の啓発へ向けて

― 歯と口の健康意識啓発プロモーション ―

若年層に向けての歯科啓発として昨年よりスマイルコンテストを実施し、６月に高校生部門、12月に大学・専門学生部門を行った。大学・専門学生部門の募集は多数の問合せがきた。また、熊本歯科衛生士専門学院の体験入学参加者が昨年より倍増しており、スマイルコンテストが若者へ少しずつ浸透してきて、歯科への関心も増えているのではないだろうか。しかし、歯と口の健康意識の啓発は、まだまだである。この度、スマイルコンテストを一緒に行っている寺原自動車学校の寺岡氏の働きかけで、熊本県立大学総合管理部の授業の一環として、若年層に向けた歯と口の健康意識啓発プロモーションの課題解決を取り上げていただけるという話をいただいた。それに伴い、10月に熊本県立大学、寺原自動車学校、本会で、「若年層に向けた歯と口の健康意識啓発プロモーション施策に関する覚書」を締結し、若年層の歯と口の健康意識啓発と歯科定期受診頻度の向上を課題として、学生による課題解決策を立案していただくこととなった。

担当するのは、総合管理学部総合管理科の丸山泰教授ゼミの学生15人である。丸山教授は、マーケティング、ブランディング等の授業をされており、前職は、ライオン株式会社でマーケティングを専門にされ、オーラルケア部門にも一時在籍されていたこともあると伺った。

11月24日(水) 午後２時40分からの授業で、髙水間理事と石井理事が、むし歯・歯周病の原因と予防法、歯周病と全身疾患との関係、歯科健診の重要性、歯科健診による健康寿命の延伸や医療費削減効果等の話をした。また、学生から以下の質問（事前質問含む）があった。

学生目線での質問もあり充実した授業に

・定期健診をしている人の割合、その頻度
・定期健診の費用、学割はあるのか
・１日３回歯を磨いていても健診等を怠ると、今後むし歯や他の疾病になる確率
・20代から定期健診に行かなければ、今後どれくらい費用がかかるのか
・むし歯ができてから治すよりも、定期健診で予防すべき理由
・スマイルコンテスト以外でやっている啓発活動があれば教えてください

また、「何と言って電話したらいいか」という質問もあり、一般的な健康診断は大学が行っているのに対し、歯科健診は、自ら予約や費用負担しなければならず、学生にとって、ハードルが高いものと思われる。

15人の学生は３班に分かれ、それぞれ課題解決策を立案し、２月に発表する予定である。我々が思いもつかない、学生目線の奇抜で思いがけない案がでてくるかもしれない。学生達が、練りに練った解決策を聴ける発表会が待ち遠しい。

（髙水間 奨）

歯と口の健康講座

歯周病の治療と予防について

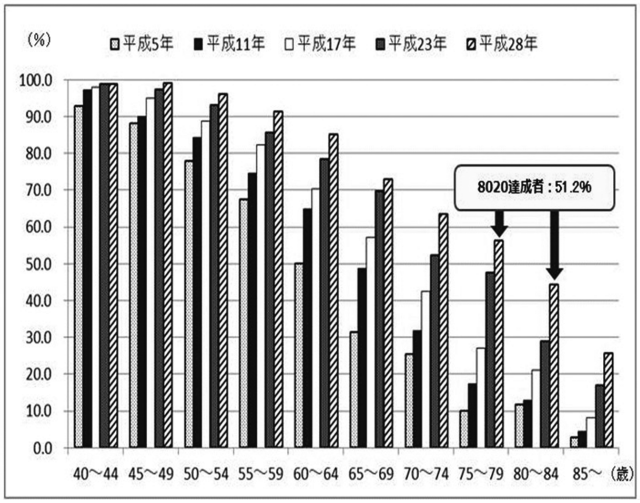
理事　馬場 一英

世界でもトップクラスの長寿国となった我が国において、いわゆる健康寿命の延伸は急務であると思われます。人間の生命維持に欠かせない「食べる」ということは同時に、生きる楽しみの一つでもあります。そこにおいて「歯」を健康な状態で維持していくことは、健康寿命とも密接に関連しています。歯周病は成人の抜歯の主な原因であり、近年は全身の健康への様々な影響も示唆されています。

今回は歯周病の治療と予防について示します。

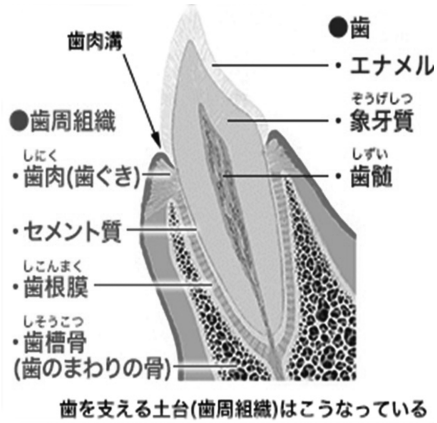
8020達成者は増加している

厚生労働省により実施された直近の平成28年度歯科疾患実態調査によると、8020達成者（80歳で20本以上歯が残っている人）の割合は50％を超えており、前回（平成23年度）の40.2％からはもちろん、回を重ねるごとに、その割合は増加しています（※8020達成者は75歳以上85歳未満の数値から推計）。同調査では、う歯（虫歯）や４ミリ以上の歯周ポケット（歯周病の指標）の保有率も合わせて増加しており、今後更なる増加が予想されます。



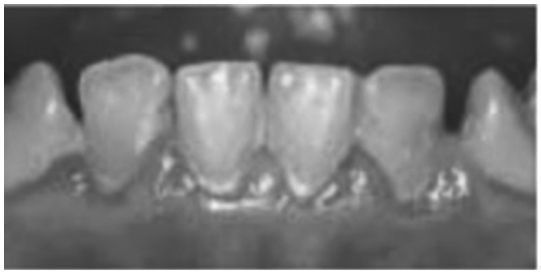
歯周病とはどんな病気？

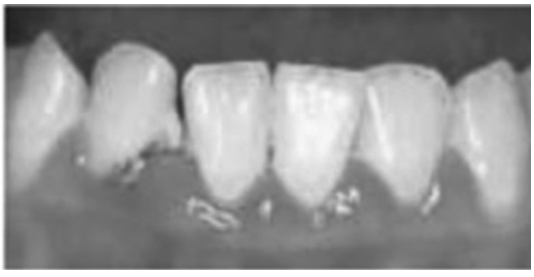
歯周病とは、歯を支えている歯肉、歯槽骨、セメント質、歯根膜に細菌感染や外傷（過重な噛み合わせなど）によって障害が生じた状態を言います。歯槽膿漏という病名をよく耳にされると思いますが、これは正式な病名ではなく、その文字通り、歯茎から膿が出ている状況を形容したもので、歯周病の中で、歯ぐきの炎症だけにとどまったものを「歯肉炎」と言い、骨まで溶けてしまったものを「歯周炎」と言います。最初は歯肉炎が起こりますが、それを放置していると歯周炎になってしまいます。

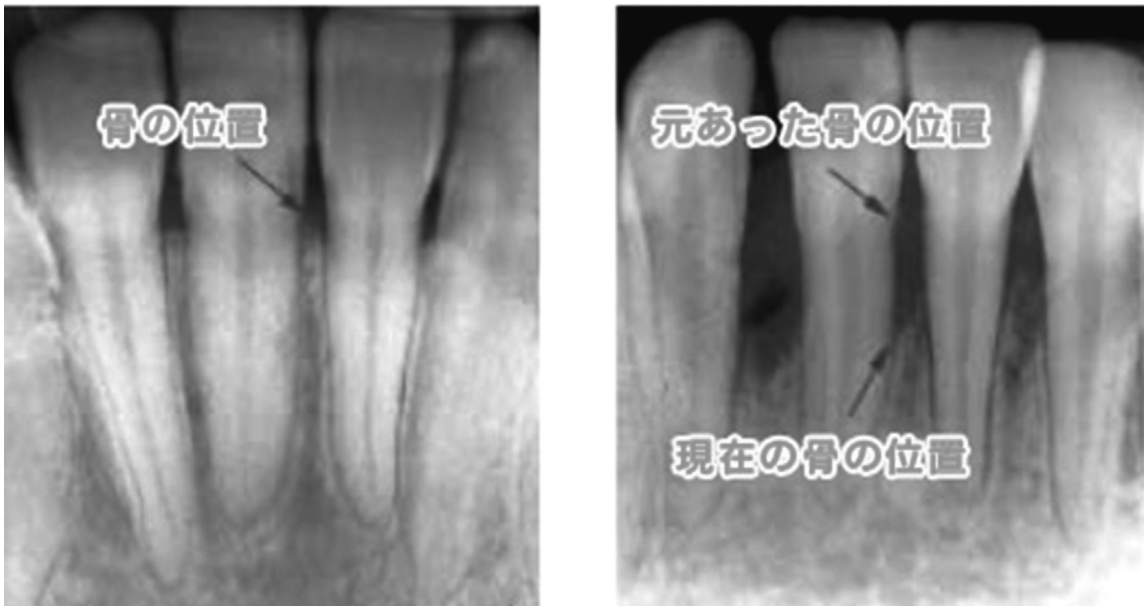


歯を支える土台(歯周組織)はこうなっている

図は、歯肉炎と歯周炎を比較したものですが、エックス







（図）歯肉炎(左)、歯周炎(右)

線写真を見ると、左の歯肉炎に比べ、右の歯周炎では歯を支えている骨が大きく溶けているのがわかると思います。

ここで注意していただきたいのは、口の中を見ただけではどちらがより悪いのか、全く区別がつかないということです。

歯周炎の治療をしても、骨が元に戻るということは、ほとんどの場合不可能ですので、なるべく歯肉炎の段階で止めたいものです。

歯周病の原因

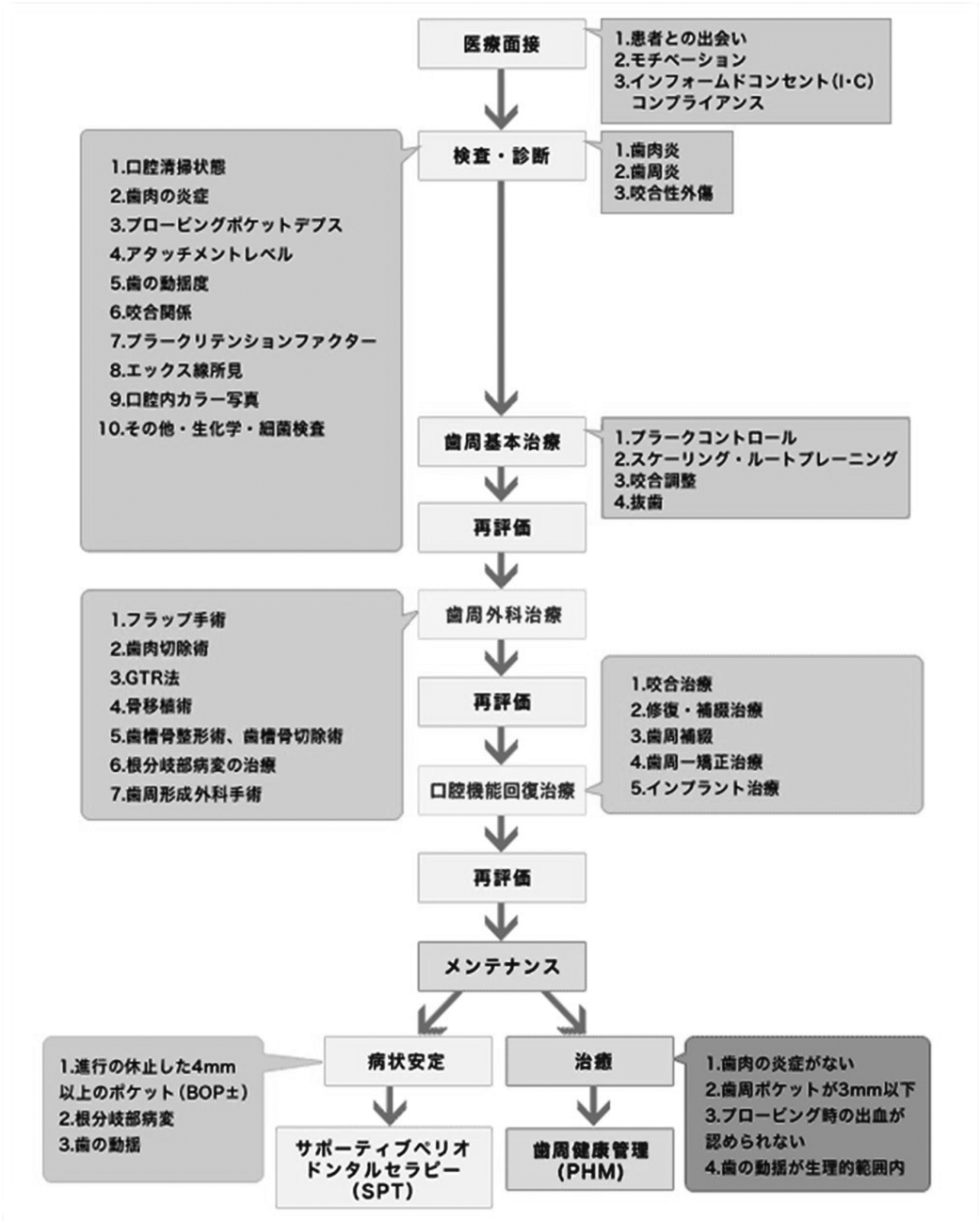
歯周病の主な原因は細菌感染です。ヒトの口腔内には、未同定のものも含めて700種類以上の細菌が生息しています。これは腸内細菌叢（ちょうないさいきんそう）に匹敵します。それらがデンタルプラーク（歯垢）（※以下プラークという。）を形成します。プラークの細菌凝集程度は、湿重量たった1㎎あたり$10^{8\sim9}$個程度とされ、ヒトの体に存在する細菌の中で最も密度の高い菌塊であると言われ、これは糞便のそれよりはるかに高くなります。プラークは自らの分泌する物質でネバネバした粘着性の性状をしており、「バイオフィルム」というヌメリ汚れの一種であり、その性状により物理的、化学的な刺激の下でも中の細菌は安定しており、量が増加すると内部が低酸素状態になり病原性の高い嫌気性細菌である歯周病原因菌が増加し、その産生する毒素で歯ぐきを腫らし、血や膿を出したり、歯の周りの骨を溶かしたりする原因となります。プラークは、そのバイオフィルム構造により、外からの抗菌薬（化膿止め）や唾液中の抗菌成分の攻撃に抵抗し、薬が効きにくい構造となっています。

歯周病の予防

歯周病予防の基本は、お口の中を清潔に保つことです。歯周病はプラーク、つまり細菌の固まりが歯ぐきの炎症を引き起こすことから始まります。前述のように、プラークはバイオフィルムを形成しているので薬品が効きにくいため、毎日の正しい歯磨きや歯科医院での定期的な清掃が有効です。歯石がついていると、表面がざらざらしていてプラークが付着し易くなり、汚れも落ちにくくなります。歯石は自分で取ることができないので、定期的に歯科医院で歯石の掃除をして、歯垢や歯石がつきにくくするために専用の器具を使って歯の表面を滑沢にするPMTC（プロによる機械的清掃）をすると更に効果的です。また、糖尿病のような全身疾患や喫煙も歯周病を悪化させる重要な因子ですので、これらを改善する必要もあります。

歯周病の治療

残念ながら歯周病になってしまった場合は、次のような治療を行います。

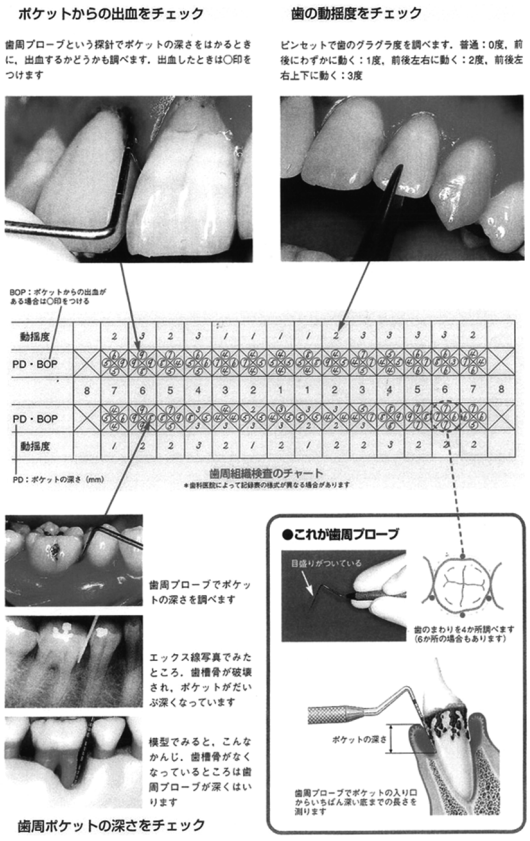


医療面接

患者さんの現在の状態と背景の様々な情報を聴取します。また、次に行う検査の結果と、それを基にした診断結果を交えて、歯科医師による病状説明とそれに対する治療計画を説明し、患者さんの納得と了解（インフォームドコンセント）を得る大切なステップです。

歯周組織検査

プラーク付着の状態、はぐき（歯肉）からの出血、ポケットの深さ、歯の動揺度等を調べると共に、エックス線写真を撮影して歯の周りの歯槽骨の状態を確かめます。この検査は、最初だけでなく、治療によって病気が治っているかを確かめるため、治療の節目でも行います。特にプラーク付着とポケットの深さの検査は、歯周治療を行う上でとても大切です。



歯周基本治療

a）患者さんへの口腔衛生に対する動機づけ（モチベーション）とプラークコントロール（歯磨き指導）

歯周病やむし歯の原因の細菌性プラークを歯から取り除くことは治療を的確に進めるために、とても大切なことです。そのためには、自分自身でしっかりと口の中の管理をするという、しっかりとした心構えが大切です。歯科医師や歯科衛生士は、きちんと磨けるようになるまで、指導を行います。

b）歯石の除去（スケーリング・ルートプレーニング）

歯石はプラークが固まったものです。その表面にはまたプラークが溜まるので、きれいに取り除く必要があります。取り除く際には、手用または超音波を利用したスケーラー等を用います。また、歯石の付いていた歯の表面には細菌からの毒素がしみこんでいたり、表面に溝ができたりしていますので､それを除去してきれいな歯の表面を作ることをルートプレーニングと呼びます。これは手用のスケーラーを使用して行います。

c）かみ合わせの調整

過度な力により咬合性外傷を引き起こしている歯の場合、歯の安静を保つために、歯の一部を削って、歯と歯のかみ合わせの状態の調整を行うことがあります。

再度の歯周組織検査を行い、最初の時期（初診時）に行った検査の値の変化から、改善状態を調べます。この結果を基に、次に行う治療を修正しながら治療を継続します。

歯周外科

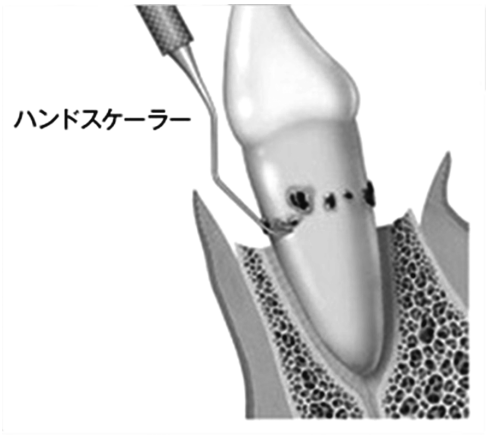
歯周基本治療の後の再評価検査の結果、歯石がポケットの深いところに入り込んでいて除去できず、治っていない場合には外科的治療を行うことがあります。

a）フラップ手術

治っていない場所の歯ぐきを部分麻酔し、その後に剥離（切って開く）し、スケーラーの届かなかった部分の歯石や根の表面の汚れを取り除きます。取り除いた後は、開いた歯ぐきをきちんと閉じて縫合します。糸を抜くのは１週間程度後になります。

b）歯周組織再生療法

通常の歯周治療では、失われた歯周組織を元通りの状態に戻すことはできません。その歯周組織を元通りにする「再生」を期待する治療法です。これには、特殊な膜を用いるGTR法（歯周組織再生誘導法）と組織再生誘導物質（リグロス）を応用する方法があります。ただし適応症例は限定され、全く元通りに回復するという事ではありません。



歯周検査（再評価）

歯周外科治療を行った部位の改善状態を確かめるための検査です。この結果を基に治療計画を修正したり、口腔機能回復治療を行うかどうか、そしてメンテナンスへの移行を決めたりします。

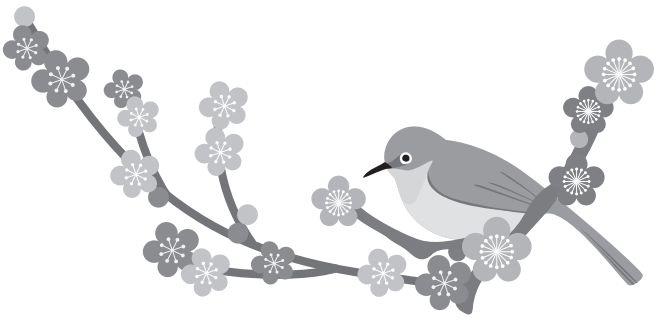
機能回復治療

歯周治療で改善が見られた場合、治った歯に対して被せ物（冠）、ブリッジや入れ歯（義歯）を装着します。これにより、かむ力、食べる力を向上させます。

メンテナンス（定期検診）

積極的な歯周治療が終わっても、治療が完全に終わったわけではありません。とても大切なこととして、定期的に口の中、歯の周りの組織のチェックを受けること（メンテナンス）が必要となります。歯周病は再発しやすい病気ですので、場合によっては再度問題が見つかり、治療が必要となることもあります。メンテナンスの期間は、罹っていた歯周病の重篤度や患者さんの状態によっても異なります。是非とも期間を決めて、毎日の的確な歯磨きと規則正しい生活習慣が出来ているかどうか、再発がないか定期的な歯科医院での受診が不可欠です。

歯周病はお口の中の細菌感染によって、歯を支える組織が不可逆的に破壊される病気です。身体の入口である口腔を不潔にすることは様々な全身疾患も誘発する事も報告されています。是非かかりつけの歯科医院をもって、清潔な口腔内を維持してください。



玉名郡市歯科医師会

在宅歯科医療機能強化推進へ！

― 臨時総会 ―

12月17日（金）午後６時30分より、玉名市民会館会議棟において、標記会が開催された。開会の後、大林会長より、「コロナ禍で会員同士が会う機会が少なく残念である。このような時期なので、Ｆネットによる理事会報告も、以前より詳しく分かりやすく工夫しているので、活用してほしい」との挨拶があった。

高﨑議長、城井副議長が選出され、会務、代議員会、評議員会、会長専務会議、国保組合会の報告がなされた。その中で、令和４年度在宅歯科医療連携室事業のモデル地区として玉名地域が選定されたとの報告があった。具体案としては、現状の実態調査、会員・スタッフのスキルアップを目的とした研修会開催、訪問歯科診療に関する普及啓発の強化等が挙げられた。

議事では令和２年度の一般会計､共済互助会､連盟の決算報告の後、監査報告があり、承認された。協議事項としては議事録の保存方法について複数の会員より意見が出されたが、論点に大きな違いはなかった。その後、３回目ワクチン接種に関しての再確認、県北病院との医療連携を推進してほしいとの要望があった。又連盟より、１月に開催されるデンタルミーティングへの出席依頼や、次の参議院選挙について説明がなされた。10月に開催された九州歯科医学大会についても、多数の参加があり、特に一般市民の参加が多かった事が報告された。最後に審査情報提供事例のホームページの活用等について説明があった。

コロナ前より出席者は少ないものの、30人程の参加にて活発な意見交換が行われた。

前年度に引き続いて感染対策を徹底して行われた総会であったが、コロナに対する向き合い方にも幾分かのゆとりが感じられた。新しい年も気を緩めることなく感染対策を徹底して、コロナの終息に向けてがんばろうとの思いの中、会場を後にした。

（小林 泰子）

上益城郡歯科医師会

上益城郡歯会の絆を深める

― 臨時総会 ―

12月18日（土）午後５時より嘉島町の「とくながが」にて標記会議が行われた。

佐藤副会長の開会の辞の後、江藤寛文会員が議長に選出された。

岩本会長より

「久しぶりに皆さんのお顔が拝見できて非常に嬉しく思っております。新執行部になりまして、オンラインでの月例研修会を１度行いましたが、その他活動らしき活動が出来ずにおりましたので、本日臨時総会を開催出来たことに感謝しております。コロナ禍の状況も今の所鎮静しつつありますが、来年にかけてまだまだ予測がつかない状況です。無理せずしかし出来る事があればしっかり会務を執行して参りたいと思います。」と挨拶があった。

続いて報告事項として、臨時代議員会、臨時評議員会、月例研修会、笑顔ヘルＣキャンペーン、コロナ禍における学校でのフッ化物洗口、救急救命講習会、送付資料のペーパーレス化、保健所立ち入り調査、各種オンライン手続き、コロナ助成金、上益城郡在宅医会定例ミーティング等の報告、各委員会報告、益城町道路拡張に伴う問題、同好会活動の説明があった。

続いて当日欠席の、神戸威会員が勲５等瑞宝双光章を授与された名誉に対して郡歯会より代理の神戸浩会員に記念品が贈呈された。

顔と顔を合わせることができる喜びを感じて

【協議事項】

①今後のコロナ禍での郡歯会活動

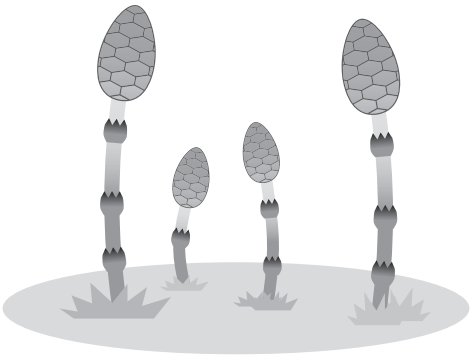
②祝事

③本年度の会費の取り扱いについて

堂上会員が閉会の辞を述べ会議は終了した。

引き続き忘年会に移り河端会員の乾杯の発声で久々に顔を合わせた皆がアクリル板越しではあるが、様々な情報を交換し交友を高め一段と上益城郡歯会の絆を深くしていった。２時間後、最後に江藤崇文会員の締めで会はお開きとなった。

（佐藤 昭彦）



郡市会報告

菊池郡市歯科医師会

学術講演会をオンラインで開催

― 学術講演会 ―

11月30日（火）午後７時30分より標記講演会が開催された。コロナ禍のため、残念ながら対面式での開催は叶わずZOOMを用いたオンラインのみでの開催となった。平日の診療後の開催だったにも関わらず36人と多くの会員の先生方に参加頂いた。

今回の講演会は若手・中堅の会員に発表していただくということで企画され、市川康裕会員、平良幸治会員、野田一樹会員の３人に「社保」「歯科矯正治療」「予防歯科」の観点から講演頂いた。

若手・中堅の先生ならではの着眼点での講演に対しオンラインだったにも関わらず、活発な質疑応答がなされ、日常臨床に役立つ情報を多く共有できる有意義な講演会になった。

演者は菊池郡市歯科医師会館より配信した

一刻も早く新型コロナウイルス感染症が収束し、演者がフロアの温度を感じつつ講演を行い、質疑応答がより白熱するような対面での講演会が開催できるように願うばかりである。

（今泉 亮）

天草郡市歯科医師会

これからも健康で

― 長寿会 ―

12月12日（日）午前11時より、本渡諏訪神社神前において厳かに開催した。

例年、長寿会は懇親会場を設けて盛大にお祝いを行ってきたが、今年はコロナ禍の影響で縮小となった。今年の対象会員は、喜寿に伊東宏会員、浜崎献作会員、蓑田哲哉会員、還暦に内崎祐一会員、槌本亮二郎会員、新田昭洋会員、蓑田太司会員であり、当日出席会員20人超と共に、神殿内でのお祓い等の式が粛々と進行した。終了後花束贈呈式を行い、その後、中嶋会長よりお祝いの挨拶があった。また、お祝いを受けられた会員からお礼の言葉を頂き、その後お弁当を配付して会は無事終了した。長年地域歯科医療に貢献され、歯科医師会の更なる発展を担っている姿を垣間見て、今後の益々のご活躍と健康を祈念して閉会となった。

本渡諏訪神社にて寿賀会員を御祝

（小田 哲也）

リレー投稿 62

やればできる

熊本市　とよだ歯科医院　豊田 正仰

美食家の天草郡市・壽永旭博会員よりバトンを受けました、熊本市東区で開業しております豊田正仰です。壽永先生とは県歯学術委員会でもお世話になっており、また12月号の大学の先輩である内野玲会員からの流れもあり断れず執筆させて頂きます。私は福岡歯科大学での学生時代は、バスケットボール部に所属していて週３～４回の練習、練習後の飲み会、〆のラーメンを食べてもほぼ太らずに健康に過ごせていました。春休みや大会前には１日２部練など、きつい練習もありましたが仲間たちと切磋琢磨し目標であったオールデンタルで優勝でき、優秀選手にも選ばれたことは良い思い出になっています。熊本に帰ってきてからは大学の先輩方に可愛がって頂き、結婚するまではかなり飲みに連れて行ってもらいました。飲んだ後のカツカレーやお好み焼き、ラーメン、ステーキなどで少しずつ体重が増えていき、ダイエットしないと……と思いながら学生時代から18年で約20kg増えてしまいました。それでも熊本城マラソンやホノルルマラソンを時間はかかりましたが完走できていたので、まだ大丈夫と思っていましたが、子供たちとサッカーをすると息が上がりやすくなり、妻からは加齢臭が気になるとの指摘もあり、これではダメだと思いダイエットをすることにしました。幸

19年前、優勝カップを持ってニヤリ

正月休みは日本酒を持ってニヤリ

いにもコロナ禍で自粛生活も重なり、自宅ではお酒を飲む習慣がないので規則正しい食生活ができ運動する時間も出来たので、すぐ痩せるだろうと楽観的に考えていましたが、基礎代謝量の低下のせいなのか、簡単には痩せずにいました。確かに同年代の友人達がジムに通い出して筋トレしてインスタなどのSNSで頑張っているのを見て、ジムに行くか悩みましたが通い続ける自信がなかったので、目標設定をしました。初めての人間ドックを受けること、それまでに10kg痩せる。２ヶ月しかなかったですが、週５回10㎞走ること、毎日体重計に乗ることをノルマにし、食事制限も糖質制限も行いました。今までなかなかダイエットを始める踏ん切りがつかなかった自分が、不思議と続けることができ、どうにか人間ドックまでに痩せることができました。毎年の健康診断で気になっていた色々な数値も正常範囲になりましたが、今まで蓄えてきた内臓脂肪はしぶとく、今後の課題として残っています。これからもダイエットを続けていき健康に過ごせるように、また歯科医師としても目標を持って研鑽を重ねて行きたいと思います。次回は写真のセンスが良く、筋トレに詳しい河端憲彦会員にバトンを託します。河端先生、よろしくお願いします。

熊歯乙女のひとりごと⑭

人生塞翁が馬

熊本市　ともみっこ歯科　川野 智美

乙女？が私で良いのか分かりませんが、熊本市北区でともみっこ歯科を開業している川野智美と申します。５年前、ちょうど熊本地震がおこった年に開業しました。まさか自分が開業するなんて思ってもいませんでしたが、お陰様で今はこのようにここで原稿を書かせて頂いています。

もともと歯科大学を卒業してからは18年間陸上自衛隊の歯科医官として勤務していました。子どものころから運動が苦手な私が事情により、体力勝負の自衛隊に入ることとなってしまい、当時は非常に不安でした。

そして不安は的中し、自衛隊での基礎訓練は予想よりはるかに厳しく、大学時代ジャズ系の部活でピアノを弾かせてもらっていた頃とは、何から何までまるで別世界でした。それにも何とか慣れ始めたころ突然訓練期間が終わり、やっと歯科医官としての歯科医師のスタートでした。

そんな私が子どもの頃からこれだけはなりたくないと思っていたのが、独身のキャリアウーマンです。当時もそこそこ責任は持って仕事はするつもりでしたが、やはり女性は結婚相手によって仕事も影響されるだろうと思っていました。しかし､仕事をするなかで、患者さんや指導してくれた先生、研修会を経てだんだん歯科という仕事の奥深さを感じるようになりました。噛むこと食べること、痛みをとること、咬合を整えること、自分の仕事に強い責任とプレッシャーとやりがいを感じるようになっていきました。

出会いに感謝をし進んで行きます

そんな中家庭の事情により、慣れ親しんだ自衛隊を退職後開業したことで、縁遠かった子どもさんやお年寄りも診ることとなり、自分がするとは思っていなかった分野に触れ、さらに、歯、口腔というものが産まれてから人生を閉じるまで、人に及ぼす影響について考えさせられることとなりました。歯科医師は良くも悪くも男女関係なくどのような立場だったとしても、患者さんの人生に影響を与える可能性を秘めている重要なものだと思うようになりました。

結局気がつけば子どもの頃なりたくないと思っていた独身キャリアウーマンに近い自分に結果としてなっているのですが、実は大切な仕事とやりがいに気づけた今の自分の人生が好きです。人生の節目節目の選択や追い込まれて進むしかなかった道のおかげで、今の自分がいます。塞翁が馬という言葉を耳にしたときまさしく人生はそのとおりだと思いました。

これからも楽しいことばかりでなく悩みながら進むこともあると思いますが、しっかり受け止めていこうと思います。そして今の私を支えて下さっている周りの方々や出会いに心から感謝しています。

最後までお読みいただきありがとうございました。

会　務　報　告

自　令和３年11月21日
至　令和３年12月19日

所管	日付	摘要	出務者
総　務	11月24日	熊本県立大講義（熊本県立大学） （１）丸山ゼミでの講義	高水間・石井理事
		第７回理事会 【承認事項】 （１）後援名義の使用依頼 【議　　題】 （１）関係機関・団体への会費等の納入（２）令和３年度熊本県委託事業に係る予算 （３）高圧交流気中開閉器（PAS）の更新　ほか	伊藤会長他（五島理事を除く）全役員
	25日	【Web】第２回九州各県災害対策特別委員会（診療所）	宇治常務理事
	26日	【Web】都道府県歯科医師会事務長事務連絡会	岡﨑事務局長他１人
		第158回九州地方社会保険医療協議会熊本部会（熊本第二合同庁舎）	椿副会長
	28日	歯周病プロジェクト講演会 受講者：歯科医師89人（会場：25人、Web：64人） 歯科衛生士188人（会場：88人、Web100人） 演　題：「歯科医院と患者さんを信頼で結ぶ！信頼されるマイ・ハイジニストになるための５つのポイント！」 講　師：天野敦雄教授（大阪大学大学院歯学研究科予防歯科学）	伊藤会長、椿副会長、野田理事、内野委員長他４人
		歯科補てつ物製作過程等の情報提供推進事業研修会（くまもと森都心プラザ）	伊藤会長
	29日	人事考課　下期職員人事考課	牛島専務理事、宇治常務理事
	30日	県健康福祉部との懇談会（熊本市）	伊藤会長、椿・松本副会長、牛島専務理事、長野・宇治常務理事、岡﨑事務局長
	12月１日	第９回常務理事会 （１）後援名義の使用依頼（２）県からの委託事業・補助事業の予算 （３）令和４年度各委員会予算（案）　ほか	【会館】伊藤会長他常務理事以上（松本副会長を除く）全役員【Web】松本副会長
	２日	県スポーツ協会第２回財務特別委員会（ホテル熊本テルサ）	伊藤会長
	３日	第22回熊本睡眠呼吸障害研究大会（熊本大学病院）	椿副会長
	７日	自民党県連との懇談会（熊本市）	伊藤会長、椿副会長、牛島専務理事
	８日	月次監査　11月末会計現況監査	増田・水上監事
	10日	賞与支給式	伊藤会長、牛島専務理事
	11日	市原誓志会員日歯会長表彰伝達式	伊藤会長、牛島専務理事
		神戸威会員叙勲伝達式	伊藤会長、牛島専務理事
		【Web】「中国・四国」「九州」地区歯科医師会役員連絡協議会	伊藤会長、宮井副会長、牛島専務理事、永松常務理事、岡﨑事務局長
	13日	DXプロジェクト合同会議 （１）ＤＸ事業計画（２）各委員会のWeb活用・対応状況、問題点報告 （３）Web研修・委員会開催の課題　ほか	牛島専務理事、宇治常務理事、馬場・野田理事他７人
	15日	第10回常務理事会 （１）後援名義使用・共催依頼（２）関係機関・団体への会費等の納入 （３）安心安全歯科医療推進制度の告知　ほか	伊藤会長他常務理事以上全役員
学　術	11月26日	安心安全歯科医療推進制度運営委員会	牛島専務理事、宇治常務理事、工藤理事、馬場理事、椿理事
	27日	九州地区日歯生涯研修セミナー打合せ（長崎県歯会館）	馬場理事
	28日	九州地区日歯生涯研修セミナー（長崎県歯会館）	馬場理事
	12月１日	【Web】第３回日歯学術委員会（診療所）	馬場理事
	18日	学術委員会 （１）マウスガード制作協力医（２）２/４熊本県歯科医学大会（３）その他	馬場理事、壽永副委員長他２人
社会保険	11月27日	【Web】社会保険委員会（各診療所） （１）会員向け発行物（２）指導立会者、個別相談対応（３）報告事項と今後の日程	舩津理事、桐野委員長他14委員
	12月16日	保険個別指導（熊本第二合同庁舎）	井口委員
	18日	社会保険委員会（人吉市） （１）会員向け発行物（２）指導立会者、個別相談対応（３）次年度点数改定　ほか	椿副会長、舩津・野田理事、桐野委員長他12委員
地域保健Ⅰ	12月11日	地域保健委員会Ⅰ （１）乳幼児歯科健診（２）歯の祭典イベント	松本副会長、高水間理事、郷原委員長他全委員
地域保健Ⅱ	11月22日	【Web】在宅歯科診療機材整備事業打合せ（各診療所） （１）選定方法（２）補助対象機器（３）在宅サポートセンターとの連携	【zoom】牛島専務理事、松本副会長
		県老人福祉施設協会会長と懇談会	伊藤会長、牛島専務理事、松本副会長、長野常務理事
	27日	NPO法人ハートリング運動との懇談会	松本副会長、長野常務理事
	12月４日	県介護支援専門員協会との懇談会	伊藤会長、松本副会長、牛島専務理事、長野常務理事
	６日	【Web】モデル地域と打合せ（県歯科会館、各診療所） （１）ケアマネ協会へのアンケート（２）モデル地域研修会（山鹿）	【会館】町田理事　【Web】松本副会長、長野常務理事、赤尾委員長、古田委員他２人
	７日	後期高齢者歯科口腔健診データ分析会議 （１）医科歯科健診比較の計算式・解析（２）ロジスティック解析（３）医療費の比較	赤尾委員長、菅鉢副委員長、郷原委員長、弘中副学院長
	８日	ケアマネ協会へのアンケート作成打合せ （１）アンケート内容	長野常務理事、町田理事、赤尾委員長
	10日	老人クラブ連合会健康づくりリーダー等研修会（KKRホテル熊本） （１）講義：高齢者の口腔機能向上による健康づくり（２）受講者120人	松本副会長

所管	日付	摘要	出務者
地域保健Ⅱ	12日	【Web】介護者歯科実技研修会（県歯科会館、診療所） 【zoom】講師米山武義先生	【会館】伊藤会長、松本副会長、長野常務理事、町田理事、赤尾委員長他（志方委員を除く）全委員【Web】菅鉢副委員長
		地域保健委員会Ⅱ（県歯科会館、診療所） （1）介護者歯科実技講習会（2）在宅歯科モデル地域（3）在宅歯科医療研修会　ほか	長野常務理事、町田理事、赤尾委員長他（志方委員を除く）全委員【Web】菅鉢副委員長
	13日	【Web】介護保険ワーキング委員会 （1）介護保険点数	【webex】松本副会長、長野常務理事、町田理事、松津理事他4人
	16日	県老人保健施設協会との懇談会	伊藤会長、松本副会長、牛島専務理事
	17日	【Web】在宅歯科医療研修会リハーサル	松本副会長、長野常務理事、町田理事、赤尾委員長他2人
広　報	12月7日	【Web】広報委員会 【Webex】（1）熊歯会報1月号　第1校目校正	【会館】神﨑理事他2委員　【Web】秋山委員長他3委員
	14日	【Web】広報委員会 （1）熊歯会報1月号　第2校目校正	【会館】神﨑理事、秋山委員長他2委員　【Web】他3委員
学校歯科	11月25日	令和3年度県健康づくり推進学校表彰審査会	宮井副会長
	12月15日	第104回日学歯臨時代議員会（TKP市ヶ谷ビル）	石井理事
	16日	県PTA共済審査委員会（県婦人会館）	牛島専務理事
	17日	学校歯科委員会 （1）県委託事業（2）日学歯基礎・更新研修（3）日学歯啓発チラシ進捗状況　ほか	宮井副会長、石井理事、高田委員長他委員
医療対策	11月25日	医療相談	永松常務理事、椿理事
	12月4日	神奈川歯科大学熊本県支部医療対策講演会（熊本市）	椿理事
	6日	医療対策委員会 （1）事例報告検討（2）理事報告	永松常務理事、椿理事他全委員
センター・スペシャルニーズ	11月25日	第8回障がい者歯科スキルアップセミナー 講師：石井里加子歯科衛生士	
	12月2日	【Web】センター・スペシャルニーズ委員会（各診療所） （1）障がい者歯科スキルアップセミナー（2）セデーション （3）宮崎歯科福祉センター視察　ほか	椿副会長、我那覇委員長他全委員、石井歯科衛生士
	7日	第9回障がい者歯科スキルアップセミナー（口腔保健センター） 講師：石井里加子歯科衛生士	
	8日	はなぞの学苑歯科健診（はなぞの学苑） 健診者：25人	古田・蔵本歯科医師他3人
	10日	大西熊本市長訪問（熊本市役所）	伊藤会長
厚生・医療管理	11月22日	【Web】令和3年度熊本国税局管内税務指導者協議会	宮井副会長、工藤理事、牧委員長
	29日	アールエーキューとの打合せ（診療所）	工藤理事
	12月1日	ティーケーとの打合せ（診療所）	工藤理事
	19日	九州歯科医療管理学会（鹿児島県歯科医師会館）	宮井副会長、工藤理事
医療連携	11月29日	医療連携委員会　（1）県民公開講座（2）今後の事業の出務（3）糖尿病･歯周病アンケート　ほか	松本副会長、三森理事、太田委員長、吉武副委員長他全委員
	30日	回復期医科歯科病診連携事業登録歯科医説明会　参加者：24人	三森理事、宮本熊本市会長他3人
	12月1日	【Web】熊本医療・保健・福祉連携学会第2回企画委員会（診療所）	松本副会長
	9日	第1回がん医科歯科連携運営協議会 （1）がん連携実績数（2）がん連携登録医数（3）県民公開講座 （4）薬局への働きかけ（5）次年度の研修会	松本副会長、牛島専務理事、三森理事、太田委員長、吉武副委員長他2人
	11日	【Web】熊本県感染管理ネットワーク運営協議会（診療所）	三森理事
	12日	県がん診療連携協議会セミナー県民公開講座（くまもと県民交流館パレア）	松本副会長、三森理事
	14日	【Web】県がん診療連携協議会幹事会第50回相談支援・情報連携部会（診療所）	三森理事
学　院	11月23日	第12回県医療人育成総合会議（熊本大学医学総合研究棟）	東学院長、弘中副学院長
	24日	第7回理事会	東学院長
	29日	第5回学院教務委員会	東学院長、秋山・弘中副学院長、正清教務部長他3教務委員
国保組合	11月22日	第2回国保理事会 （1）規約および規程の一部改正（案）（2）備品の廃棄処分	伊藤理事長他全役員
	12月4日	国保課職員採用面接	上野副理事長、桑田常務理事
事業課	12月1日	東京海上日動による生保募集説明	宇治常務理事
	15日	研修会打合せ	宮井副会長、宇治常務理事、椿理事

事業課からのご案内

其の 1

会員専用グループ保険制度のご案内

この団体定期保険には、災害保険金や災害入院給付金が付帯されており、**新型コロナウイルス感染症に関しては災害保険金のお支払い対象となります。**

保険料がさらにお安くなりました

配偶者も 1000 万円まで加入 OK

最高「3000 万円」の保障が無診査で加入 OK

1 年更新で配当金は毎年加入者へ還元

（2021 年の還元率 48%）

グループ保険は歯科医師会が契約者で
保険料を一括納付しています。
会員だけがいつでも自由に加入できる制度です。

引受保険会社 幹事 メットライフ生命

其の 2

既に下記の保険会社でご加入の会員様も保険料納付は団体収納扱いでお願いします！

下記保険会社と団体収納契約をしている為、会費明細引きがご利用可能。

個人加入の保険料が団体割引でお安くなり、保険内容に何も影響ありません。

手続きは簡単、事務局が代行します。ぜひ便利でお得な制度をご活用ください。

朝日生命　アメリカンファミリー生命　住友生命　SOMPO ひまわり生命
第一生命　日本生命　富国生命　明治安田生命　メットライフ生命

[県歯事務局 事業課　TEL：096-343-8020]

Kumamoto Prefecture Dentistry Medical Association Report
February 2022 No.788

笑顔ヘルC 8020運動からはじめる

主な行事予定 3 March

2日(水)	第14回常務理事会
5日(土)	国保通常組合会
12日(土)	学院卒業式
16日(水)	学院一般二次・社会人三次入学試験（学院校舎） 第11回理事会
23日(水)	第15回常務理事会
26日(土)	第２回臨時代議員会

熊本県ご当地よ坊さん

熊本県歯科医師会
安心・安全歯科医療推進制度

編集のつぶやき

先日、全国高校サッカー選手権大会で熊本県代表大津高校が熊本県勢初の準優勝に輝きました！

昨年、大津高校は息子と一緒にU-18プレミアリーグの試合を観戦しに行って、個人的にもずっと応援していたのでとても嬉しいです。

決勝は惜しくも敗れてしまいましたが、大津高校の勇士にとても感動しました！

(T.H)

■発行日／2022年２月７日発行 ■発行人／伊藤 明彦
■発行所／一般社団法人 熊本県歯科医師会
〒860-0863 熊本市中央区坪井2丁目4番15号
TEL／096-343-8020 FAX／096-343-0623
URL／https://www.kuma8020.com
■印刷所／コロニー印刷